

2023年11月16日

滋賀県知事 三日月大造様

日本共産党滋賀県委員会

委員長	石黒 良治
副委員長・県議	節木三千代
県議	中山 和行
県常任委員	黄野瀬明子

イスラエルのガザ攻撃中止、即時停戦を実現させるために力を尽くすとともに

ガザ人道支援に取り組むことを求める申し入れ

10月7日にパレスチナ自治区ガザのイスラム組織ハマスとイスラエルの戦闘が激化して1カ月がたちました。圧倒的な軍事力を持つイスラエルは難民キャンプや病院、救急車まで無差別に攻撃し、子どもを含む大勢のパレスチナ人を殺害しています。明らかな国際人道法違反であり、戦争犯罪です。

ハマスによる民間人殺害や拉致は国際法違反です。人質は直ちに解放しなければなりません。しかしハマスの不法行為に対してガザ地区の住民全体に攻撃をかけ、難民キャンプまで空爆することはどんな理由でも正当化できません。

ガザ当局の発表で同地区の死者は1万人を超え、4割以上は子どもです。アラブ・メディアによるとガザ保健当局は13日、ガザ地区最大規模の医療機関シファ病院では電力がないなか、早産児6人と重症患者9人が死亡したと発表しました。当局はまたイスラエル軍が保育器にいる早産児のための酸素発生装置を爆撃したと述べていました。イスラエル軍が地上侵攻を本格化させたことによって、ジェノサイド条約が禁じている集団殺害—ジェノサイドの危険が迫っています。世界保健機関（WHO）のテドロス事務長はX（旧ツイッター）で「安全な場所であるべき病院が死と荒廃と絶望の場と化するなかで世界は沈黙してられない」と述べ、即時停戦を訴えています。

10月27日、人道的な休戦を求める国連総会の決議が121か国の賛成で採択されましたが、日本政府は棄権し、停戦も休戦も求めています。

今、「ガザに自由を」「ストップ・ジェノサイド」—。イスラエルによるガザ地区への地上侵攻や空爆に、日本と世界で怒りの声があがっています。滋賀県でも「ガザへの無差別攻撃はやめろ！命を救え！

11.9緊急集会」が行われ、多くの市民が参加されました。

イスラエルの攻撃中止、即時停戦を実現するために、国際社会が緊急に行動を強めることが必要です。よって以下の点を申し入れるものです。

- 1 知事として日本政府に対し、「イスラエルにガザ攻撃を即時中止することを求めるとともに、双方が即時停戦のため交渉のテーブルにつくよう外交努力を尽くすこと」を要請すること。
- 2 県として、募金に取り組むなどガザ人道支援をおこなうこと。

以上